

山本山

山本山高原は、キャンプやハイキングからスノーシューイング、野生生物観察まで、この地域における自然関連のアクティビティへの玄関口です。山本山高原は、ワシやタカの仲間の多くの渡り鳥の通り道で、9月から11月にかけて野鳥観察家が集まります。眺めのよい場所からは、周辺の美しい平野や川や山々を一望することができます。また、ブロッケン現象のような後光など、この地域の珍しい自然現象を目にすることができます。

屋外でゆったり

山本山には車で訪れることができ、自然を堪能できる展望台やその他の施設がたくさんあります。山本山高原山頂展望台へと続く道の途中にあるコミュニティセンターには、バーベキューの道具やキャンプ道具がレンタルできるキャンプ場があります（一部の道具については事前予約が必要です）。キャンプ場の隣にある「おじゃ〜る」の展示室には、近くの信濃川による水力発電でどのようにしてJR東日本の鉄道路線に電力が送られているかを説明した、インタラクティブ展示が用意されています。

展望台は標高336メートルの位置にあり、小千谷市、信濃川、会津山脈、そして越後駒ヶ岳（2,003メートル）の開放的な景色が見られます。展望台の隣にある山頂のカフェでは、地元で育てた食材を使った料理をお出ししています。カフェの隣の草原ではキャンプができます。

野鳥観察

山本山は、複数の猛禽類の渡りのルートになっています。9月中旬から11月上旬にかけて、野鳥観察家たちはこの山頂を何度も訪れ、サシバ、ハチクマ、ハイタカ、ハヤブサなどの猛禽を見つけます。多ければ1日で500羽以上も見ることが可能です。猛禽を見られる可能性が最も高いのは、雨が降った翌朝（9時から12時頃）の晴れている時です。他にも、薄緑色の羽を持つメジロやエゾビタキなどがこの地域に渡ってきます。

その他の動植物

山本山の草原では、春から夏にかけて色鮮やかな花々が咲きます。山本山沢山ポケットパークでは、菜の花とヒマワリが交互に植えられます。菜の花は5月中旬頃に咲き、ヒマワリは8月上旬に花を咲かせます。春の山本山高原一帯では、紫色のカタクリなど、多様な野生の植物を見つけられます。鮮やかなピンク色のイワカガミは、春から初夏に咲きます。夏の終わり頃になると、優美な白いそばの花が咲きます。この辺りの深い森には、ニホンカモシカやアカギツネといった動物が棲息しています。

自然現象

山本山高原の東側では、信濃川と魚野川という2つの大きな川が合流しています。川から立ち上る大量のもやにより、雲海、ブロッケン現象、霧虹（白虹）といった自然現象が起こることがあります。ブロッケン現象とは、人の影が雲や霧に投影された時に、その人の影の周りに現れる、虹色の後光のことです。白虹は、霧やもやの中に現れる光るアーチです。これらの現象を見るには、秋の早朝が最適です。

野外でのアクティビティ

野外が好きな人は、ハイキングやキャンプなど、さまざまな余暇のアクティビティを楽しむことができます。山本山の南側には街の光が届かないため、星空観賞に適した場所となっています。冬に訪れる人は、スノーシューでこの付近を探索することができます。